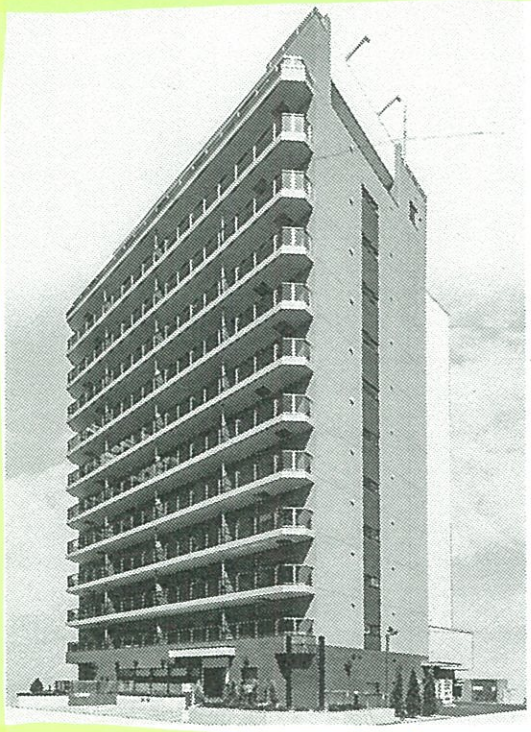
# 日本グランデ サービス付高齢者向け賃貸住宅「グランウェルネス中島公園」の募集を開始



日本グランデは、サービス付高齢者向け賃貸住宅「グランウェルネス中島公園　天然温泉翡翠楼」（札幌市中央区南11条西1丁目）の入居者募集を一月二十一日から開始した。

同物件は、同社が昨年十二月に、平成二十三年からカネトモが占有権を販売する方式で入居を進めていた「メローライフ中島公園」を取得し、「グランウェルネス」仕様へのリノベーションとサ高住へのコンバージョンを図ったもの。

鉄筋コンクリート造、地上十二階建てで、総戸数は三十八戸。

間取りは、1LDKが四タイプ三十六戸、2LDKが一タイプ二戸となっており、家賃は1LDKが八万八千円～十三万二千円（共益費・生活支援費別）、2LDKが二十七万四千円と二十八万円（同）となっている。

主な仕様としては、天然温泉施設（大浴場）をはじめ、レストラン、フィットネスルーム、スカイラウンジ、カラオケルーム、娯楽室など、同社の分譲マンション「グランファーレシリーズ」と同等の設備が備わっている。また各居室にはキッチン・浴室・洗面所・トイレが設置されている。

管理、仲介なども同社が行い、介護サービスなどは提携先の㈱アクティブケアが行う。

同社では現在、「グランウェルネス山鼻」（札幌市中央区、38戸）が三月から入居募集開始の予定で、このほか「グランウェルネス円山桜通り」（同、25戸）、「グランウェルネス菊水」（札幌市白石区、40戸）、の二棟のサービス付高齢者向け賃貸住宅を建築中だが、今回の「中島公園」が「グランウェルネスシリーズ」の第一弾となる。

# 東日本ハウス 5月1日から社名変更「日本ハウスホールディングス」に

東日本ハウス㈱（本社＝岩手県盛岡市）は、昨年十二月二十二日に開催された同社取締役会で、一月二十九日に開催される定時株主総会での定款の一部変更の承認を条件に、五月一日から社名を「株式会社日本ハウスホールディングス」に変更することを決議し、同日発表した。

今回の商号変更については、昨年四月八日付で東証第一部へ指定変更となったことを受け、今後、西日本での事業基盤の強化を図ることが目的としている。

合わせて、同社一〇〇%子会社の㈱東日本ウッドワークス北海道は、㈱日本ハウスウッドワークス北海道、㈱東日本ウッドワークス中部は㈱日本ハウスウッドワークス中部、東日本ハウスコミュニティーサービス㈱は㈱日本ハウスコミュニティーサービスにそれぞれ商号変更となる。

## 画 リーダーたち⑬

## 藤井　將博 氏

# 常にアンテナを張り、需要を見極める 新しい時代に対応した取り組みも模索

――今年は創業五十周年を迎えますが、近年の業績はいかがですか。

藤井　今期を終えて五十周年ということこころです。賃貸業の方は九八%くらいの高い稼働率で安定していますし、数年前から法人営業にも力を入れて契約も伸びてきました。賃貸をメインでやっているので、その本業の部分はブレないで進めていきたいと思っています。賃貸業といっても一般的なもののほかれていきます。各国の生活習慣の違いやマナーの問題はありますが、契約の時にきちんと規約を作れば問題はありません。また、若手の大家さんの方々が入居率を高めるために独自の取り組みを行ったり、横の連携を強化していくとみています。広い視野で見た場合、札幌の魅力というものを全国や全世界に上手くアピールできれば、企業や人がまだ集まってくる余地はあるのではないでしょうか。また、以前、東京の友人を訪ねた時に、車・バ